

武庫川水系河川整備計画 進行管理(PCDA) 第1期(H23~H27)総括(案)

利水・環境の取り組み

★河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持
～状況を的確に把握し、必要に応じた対策を実施～

項目	第1期(H23~H27)		第2期(H28~H32) (見直しはなし)
	当初計画	実績	
11 正常流量の確保	・流水利用の適正化 ・適正な水利用の推進	正常流量(1.5m ³ /s)を確保	継続的に実施
12 緊急時の水利用	・濁水調整および広域の水融通の円滑化 ・緊急時の河川水利用の円滑化	点検指標に該当する事案がなかったため未実施	水需要の動向を踏まえ、必要に応じて実施
13 健全な水循環の確保	①流域水循環把握に必要なデータの収集 ②森林、農地、ため池の整備や適正な管理(関係機関連携) ③貯留浸透施設の整備(関係機関連携)	①雨量、水位等のデータ蓄積 ②間伐・作業道の開設、ため池維持管理 ③道路側溝等の浸透化	継続的に実施

★河川環境の整備と保全

～河川環境の整備と保全における治水対策との整合性～

項目	第1期(H23~H27)		第2期(H28~H32) (見直しはなし)
	当初計画	実績	
14 2原則の適用	・動植物の生活環境の保全・再生	・上流部におけるオオサ群集の再生	継続的に実施
15 天然アユが遡上する川づくり	・魚道の改善 ・みお筋、産卵場、稚魚期の生息場所の保全再生	・2号床止工の魚道改良 ・7ヶ所上調査、産卵場づくり	継続的に実施
16 良好な景観の保全・創出	・自然景観を基調とした武庫川らしい景観の保全・創出 ・治水に支障がない範囲での緑化修景 ・樹木伐採を最小限とする施工方法等の検討	・護岸の法面緑化	継続的に実施
17 人と河川の豊かなふれあいの確保	・地域住民の多様な要請への対応 ・河川利用の利便性の確保と自然を生かした水辺の創出や施設整備	・出前講座やセミナーを通じた広報を実施	継続的に実施
18 水質向上	・下水道放流水のさらなる改善 ・水質状況の的確な把握 ・水生植物による浄化機能の向上	・水質汚濁防止法に基づき調査を継続実施(健康項目は概ね環境基準を達成。生活環境項目は環境基準を達成)	継続的に実施

河川の維持管理等に関する取り組み

項目	第1期(H23~H27)		第2期(H28~H32) (見直しはなし)
	当初計画	実績	
★河川の維持管理 ～日々の取り組み、データ等の積み上げ～			
19 維持管理	・「兵庫県河川維持管理計画」に基づく巡視点検の実施 ・必要に応じて維持・修繕工事等を実施	・必要に応じ護岸補修工事、樹木伐採を実施	継続的に実施
21 モニタリング	・定期的な観測によるデータの把握 ・事業実施前後のモニタリング ・流量観測データの蓄積	・河川監視カメラによる観測情報の公開 ・流量観測(低水・高水)を継続的に実施。	継続的に実施
★参画と協働の武庫川づくり ～多様な主体との連携・支援～			
20 流域連携	・参画と協働の推進 ・情報発信、連携・交流の支援等の継続実施	・武庫川づくり交流会、現地体験バスツアー、河川清掃活動等を実施	「地域共有の財産」である武庫川を守り育てるため、地域住民等、研究機関、流域市、県が適切な役割分担のもと、さらなる連携を進める。
★着実な計画の推進 ～PCDAサイクルによる進行管理～			
22 フォローアップ	・PCDAサイクルの考え方に基づいた進行管理の実施 ・フォローアップ懇話会の開催 ・地域住民等との情報の共有化	・PCDAサイクルの考え方に基づくフォローアップ懇話会を開催し、地域住民との情報の共有化を図る。	継続的に実施

総括

総合的な治水対策の取り組み

黄色のハッチングは当初計画から遅れ気味の項目を示す。

★喫緊の課題への対応

～下流部築堤区間の安全度向上～

項目	第1期(H23~H27)		第2期(H28~H32)	
	当初計画	実績	当初計画	見直し後
河川対策				
1 下流部築堤区間	低水路幅	1,500m ・着手:1,105m、74% ・完了:704m、47%	工事完了	潮止堰取合部以外は第2期完了
	南武橋改築	工事着手	工事継続(工事完了は第3期)	工事着手
	潮止堰改築	工事着手	撤去に先立つ塩水化対策工事をH27に着手	工事完了
6 堤防強化工事	浸透対策	6.1km 完了:6.2km、102%	工事完了	見直しなし
	侵食対策	0.7km 完了:0.7km、100%	工事完了	見直しなし
7 遊水地・青野ダム活用	遊水地	工事着手	H27工事着手	工事完了 見直しなし

★戦後最大洪水への対応(下流部築堤区間以外)

～段階的な安全度向上～

項目	第1期(H23~H27)		第2期(H28~H32)	
	当初計画	実績	当初計画	見直し後
河川対策				
2 下流部掘込区間	左岸幅	0.5km 計画について地元調整に時間を要し未着手	左岸幅 継続 河床掘削 0.5km	工事着手 (青葉台0.5km完了/ 全体2.5km)
	中流部	武田尾住宅地区 250m	・完了:250m、100%	工事完了 見直しなし
3 中流部	武田尾温泉地区	90m	・完了:0m(護岸工事着手) ・支障物件の移転完了	工事完了 見直しなし
	4 上流部及び支川	9 河川	工事着手	8河川で工事着手 ※工事の進捗は遅れ気味
5 堤防強化(支川)	天王寺川	0.2km	完了:0.2km、100%	工事完了 第1期で完了
	天神川	1.4km	完了:1.56km、111%	工事継続 (1.0km/全体3.8km)
流域対策				
9 流域対策	学校・公園・ため池(約5.7万m ³ 着手)	学校・公園(約2.0万m ³ 着手)	整備継続	整備継続(約12.3万m ³ 完成/ 全体約64万m ³)

★超過洪水への対応

～超過洪水が発生した場合の深刻なダメージの回避～

項目	第1期(H23~H27)		第2期(H28~H32) (見直しはなし)
	当初計画	実績	
減災対策			
10 減災対策	①水害リスクに対する認識の向上(知る) ②情報提供体制の充実と水防体制の強化(守る) ③的確に避難するための啓発(逃げる) ④水害に備えるまちづくりと水害からの復旧の備え(備える)	①手作りハザードマップ作成、講座・研修開催 ②実践的な訓練の実施 ③防災ネット加入促進、避難経路の屋外表示 ④建物等の耐水化、上層階への避難訓練	継続的に実施

★次期計画へ向けた対応

～基本方針の目標達成に向けた安全度の向上～

項目	第1期(H23~H27)		第2期(H28~H32) (見直しはなし)
	当初計画	実績	
河川対策			
8 洪水調節施設の継続検討(千苅ダム治水活用他)	さらなる安全度の向上に向け、利水ダムの治水活用について検討	H27より千苅ダムの治水活用について神戸市と水質への影響や水道水源としての水量確保の方法について協議中	継続的に実施